株主メモ

■事業年度 毎年4月1日~翌年3月31日

定時株主総会 ■基準日 3月31日 3月31日 剰余金の配当

中間配当を行う場合 9月30日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■定時株主総会 毎年6月下旬

■単元株式数 1,000株

■株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

■お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に□座をお持ちでない場合 (特別□座の場合)	
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) ※カスタマープラザではお取扱いできませんので、 ご了承ください。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、 ご了承ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別 口座の場合」の郵便物送付先・電話お 問い合わせ先・各種手続お取扱店をご 利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式 の振替手続を行っていただく必要があります。	

■公告方法 電子公告 (http://www.se-corp.com/ir/koukoku)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。

#### 配当金計算書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。 つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成26年の確定申告の添付書類として ご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われますので、平成26年の 確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。









見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント **FONT** を採用しています。



# 2012.4.1~2013.3.31

# ●目次

- -株主の皆様へ
- -エスイーグループの事業内容
- 連結決算ハイライト
- -特集:社長インタビュー
- -Topics (トピックス)
- 事業の状況
- -連結財務諸表
- -会社情報
- -株式情報





# 変化と新しい価値の創造

顧客に満足される新しい機能の創造 社会、自然環境との調和

社員の個性尊重 -意欲と能力の発揮による各人の豊かさの実現-

Making Changes, Creation of New Values for the Next Stage

# 株主の皆様へ



代表取締役社長 春 え 孝夫

平素は格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。 当連結会計年度におけるわが国経済は、震災復興需要や 政権交代に伴う景気浮揚策への期待などを背景として緩や かな回復傾向にありますが、依然として厳しい状況で推移 いたしました。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界 の市場規模縮小等の問題に対処すべく、中・長期的な安定 収益確保と経営基盤の強化として、補修・補強市場や海外 建設市場での積極的な事業展開、PPPへの取り組み、震災 復興需要の取り込み等を行ってまいりました。

この結果、特に㈱エスイーの「建設用資機材の製造・販 売事業」および子会社エスイーA&K㈱の「建築用資材の 製造・販売事業」における事業展開により、増収増益を達 成いたしました。

次期の見通しにつきましては、景気回復が期待される一 方、海外景気の下振れ懸念など不透明な状況が続くものと 思われますが、建設・建築業界では、公共事業投資の堅調 な推移が期待されております。

当社グループでは、引き続き既存事業の安定と中長期的 な成長戦略に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の 温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# エスイーグループの事業内容



#### 建設用資機材の製造・販売

SEEE工法を軸として、地すべ りを防止する「アンカー」や橋 梁の落下を防ぐ「落橋防止装置」 等の製造・販売をしています。 さらに、PPPコンセッション事業 の展開を行っていきます。

#### ㈱エスイー

### 建設コンサルタント

国内外で社会インフラ整備の ための調査・計画・設計など、 ソフトエンジニアリングの提供 および、PPPコンセッションのエ ンジニアリング拡大を進めます。

#### 連結子会社 ㈱アンジェロセック 連結子会社 エスイーリペア(株)

## 連結子会社 エスイーA&K(株) 補修・補強工事

橋梁やトンネル等の社会イン フラのメンテナンス技術を多数 有し、補修・補強工事を中心と した事業を展開しています。

建築・土木のコンクリート型

枠丁事に用いるセパレーターや

建物の内装丁事に用いる吊ボル

ト等の製造・販売をしています。

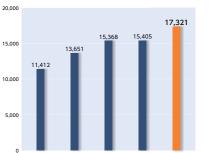
### 海外関連会社

フランス:アンジェロップ ベトナム: VJEC

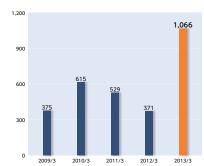
韓国: コリアエスイー.T.I.S. 台湾: 九春工業

## 連結決算ハイライト

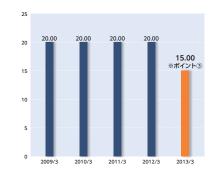
#### 連結売上高 (単位:百万円)



#### 連結営業利益(単位:百万円)



#### 連結修正1株当たり配当金 (単位:円)



# ●2013年3月期決算(連結)のポイント

### ①M&Aによる「補修・補強市場」への積極展開

(株)仲田建設 (新商号:エスイーリペア(株)) の株式を取得 し、子会社化いたしました。また、㈱エスイーのリペア・ テクノ事業部と統合し事業を拡大いたしました。

### ②㈱エスイーおよびエスイーA&K㈱の大幅増益

㈱エスイーの丁場製品の順調な販売や製造部門の生産効 率向上やコスト圧縮、またエスイーA&K㈱における復興 需要の取り込みや首都圏内の民間建築市場での受注拡大な ど、連結利益の大幅な増加に寄与。

### ③株主割当増資の実施

平成25年1月に実施した株主割当増資により株式数がほ ぼ倍増するなか、配当金は増資に応じていただいた株主様 に対して実質50%増にあたる1株15円といたしました。

# ●次期の連結業績における見通し

### 公共事業投資拡大への期待と更なる成長への挑戦

緩やかな景気回復が期待されるものの依然として先行き 不透明な状況のなか、建設・建築業界においては、国土強 靭化や社会インフラの老朽化問題対策として、公共事業投 資は順調な推移が期待されております。

以上のことから、次期の連結業績見通しは売上高187億 円、営業利益11億29百万円、経常利益11億60百万円、当 期純利益6億70百万円を見込んでおります。

# 2013年3月期連結決算ハイライト

173億21百万円	高	上	売	
10億66百万円	益	業利	営	
15円	金	当	配	

# 2014年3月期連結業績予想

187 <sub>億円</sub> (前期比8.0%増)	高	上	売	
11億29百万円 (前期比6.0%增)	益	業利	営	
<b>20</b> 円 (前期比5円増)	金	当	配	

01 ●株主の皆様へ、エスイーグループの事業内容 連結決算ハイライト 02

# 特集: Special Interview 社長インタビュー



3つの成長戦略を推進し、 超優良企業、そして大企業へ 飛躍的な成長を目指します。

## 当期の業績について

市場環境の好転による増収と 経営努力による大幅な増益を達成しました。

厳しい経営環境のもと、期首に掲げた目標が未 達に終わった前期を踏まえ、私どもは当期をエス イーグループの"再建元年"と位置づけました。 こうしたなか、当期は公共事業の増加や復興需要 の拡大など市場環境が好転したことで売上が伸び、 さらに、コスト削減に向けた徹底したマネジメン トと合理化を着実に推進してきた結果、大幅な増 益を達成することができました。

業績回復の具体的な背景としては、㈱エスイー におけるPM方式という経営管理手法の徹底、そ して、合併による経営合理化で利益体質が強化さ れたエスイーA&K㈱の復興需要の取り込みや新 領域展開の成果などが挙げられます。また、売上 規模はさほど大きくないものの、㈱アンジェロ セックによる東南アジアやアフリカ圏などを舞台 にした建設コンサルティング事業も当社グループ の総合力を強くアピールし、グループ全体の今後 の事業展開に大きな波及効果を生み出しました。

# 今後の取り組みについて

研究開発とPPP、M&Aの推進で 利益率の高い超優良企業を目指します。

中期的な視野のもと、当社グループではこれか ら3つの成長戦略を推進してまいります。

まず1つ目は現在研究開発中の、超高引張強度 コンクリート [ESCON (エスコン)] です。 ESCONは従来の鉄筋コンクリートと違って鋼材 を一切使わないため、腐敗することがなく、ヒビ もほとんど入りません。このため耐用年数も、鉄 筋コンクリートが約50年なのに対して、ESCON は実に約150年と3倍の寿命が期待されます。こ のESCONはコスト面からも橋梁やトンネルと いった社会インフラの補修・補強分野への適用 性・親和性が極めて高いだけでなく、鉄筋コンク リートに代わる建設技術として、新設のビルや海 洋構造物など様々な用途にも適用できる汎用性を 備えています。当社ではこのESCONに関連した 新たな研究開発のための資金調達を目的に1:1 の割合で株主割当増資を実施しました。今後は協 会組織や専業新会社の設立なども視野に、国際パ テントを取得してまずは欧州をはじめとする世界 市場から積極展開していく予定です。

2つ目の戦略は、ここ数年間にわたって当社グ ループが積極的に取り組んできたPPP (BOT) の さらなる推進です。現在、当社ではベトナムにお ける高速道路建設や土地開発事業でPPPの本採用 に向け積極的に展開しています。

さらに、ここで得られた経験や知見を日本に逆 輸入して、道路橋やトンネルといった社会インフ ラの補修事業をPPPで実現していけるよう、人材 の派遣や体制づくりに取り組んで行く予定です。

そして戦略の3つ目は、積極的なM&Aです。こ れから大きな成長が期待される補修・補強市場で は、M&Aによって設立したエスイーリペア(株)が主 に九州・中国で好調な業績を上げています。今後 はさらに、関西や関東でも補修・補強に強い企業 のグループ会社化を目指していくほか、様々な事 業領域においても積極的なM&Aを展開してまいり ます。

これら3つの戦略のもとで、今後3~4年程度を めどに、売上300億円、売上高経常利益率10%を 達成し、"超優良企業"になることが当社の当面 の目標です。

# 株主の皆様へ

長年にわたるご支援に報いるためにも 今後も確実な配当に努めてまいります。

当社が売上300億円企業・利益率10%という日 標を掲げるのも、株主の皆様に可能な限り配当を 行いたいからに他なりません。当期は1株あたり 15円とさせていただきましたが、株主割当増資 に応じていただいた株主様にとって、これは実質 2倍の30円に相当します。

私どもは社会インフラに関する事業を広く国内 外で展開する企業グループであり、出資を通じて 当社の事業を支える株主の皆様も、社会貢献に寄 与されていると言えるでしょう。当社としては今 後も確実な配当で皆様のご協力に報いながら、よ

り一層、社会に 資する企業とな れるよう努めて まいりますので、 今後とも末永い ご支援をよろし くお願い申し上 げます。



PPP: Public Private Partnership (官公庁と民間の提携事業方式)

**BOT**: Build Operate Transfer

(民間が施設を建設・運営し、官に所有権を移転する方式)

# Topics(トピックス)

## 1 「ESCON(エスコン)」ただいま研究開発中

当社は超高引張強度コンクリート「ESCON(エスコン)」の研究開発において、50年程度で錆びたり腐ったりしてしまうという従来の鉄筋コンクリートの弱点を補強し、150年以上の耐久性をもった軽くて丈夫、しかも錆びないコンクリートを目指しています。

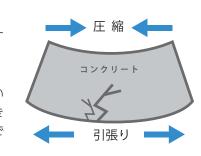
年々注目される補修・補強分野や新設構造物への長寿命化を図る活用方法などが考えられます。

#### ◆従来のコンクリートの特徴

圧縮には強いが引張りに弱いコンクリートの特性を補強するため、コンクリートの中に鉄筋が入っており、それが錆びることで腐食が発生します。

#### ◆当社で開発中の「ESCON」の特徴

鉄筋の代わりに炭素繊維筋を使用することで、コンクリートの引張強度を補いつつ、防食性にも優れ軽量化できます。これまでも、炭素繊維は注目されてきた材料ではありますが、コンクリートとの親和性に課題があったため、当社ではそこに着目した技術研究を行っています。



# 2 ベトナム「Bach Dang(バックダン)橋 プロジェクト」進捗報告

今年2月に経済産業省に対してBach Dang橋プロジェクトの事業可能性調査の最終報告書を提出しました。いよいよ、今期はベトナム・クアンニン省から正式投資家選定が行われ、仮契約締結後、平成25年中には工事着工の予定となっています。



### 3 「光るアンカー」NETIS登録

当社の主要製品「アンカー」の維持管理の手法として開発された「光るアンカー」が、このたびNETIS登録(国土交通省による新技術認定)されました。光る色によって、熟練工でなくとも斜面の状態を容易に把握することが可能となった新しいシステムです。



# 事業の状況

エスイーグループの事業は主に5つのセグメントにより構成されています。

# 建設用資機材の製造・販売事業

㈱エスイー



# 建設コンサルタント事業

連結子会社:㈱アンジェロセック



売上高 101億60百万円

(前期比 4.8%増)

売 上 高 9億25百万円

(前期比0.7%減)

• 環境防災分野



港湾・漁港などの復旧・復興 工事で使用される『控索』や 施工の容易性から『KIT受圧板』 の引合が順調であり、売上高に 寄与しました。



アフリカ圏を中心とした環境省案件や交通 分野におけるJICA案件の継続受注および 消化などに取り組みました。

• 橋梁構造分野

橋梁に使用される『斜材ケーブル』、主として補修・補強工事用の『外ケーブル』 などの売上高が前期に比べ増加しました。



補修・補強工事業

連結子会社:エスイーリペア㈱

売上高構成比 7.2%

売上高 12億52百万円

(前期比236.2%増)



M&A実施により、事業規模が拡大し、橋梁やトンネル等の補修・補強工事実績を重ねており、老朽化する構造物の維持・補修事業への取組みを推進しています。

# 建築用資材の製造・販売事業

連結子会社:エスイーA&K㈱

28.7%

売上高構成比

売上高 49億78百万円

78百万円 (前期比 14.8%増)

復旧・復興事業と首都圏の都心再開発やマンション 案件を中心とした需要の順調な取り込み、さらに子 会社2社の合併によるコスト低減効果が発揮され増 収増益となりました。



# その他事業

売 上 高

4百万円(前期72百万円の売上高)

この区分には、「バイオマス事業」含み、また、上記報告セグメントに 含まれない事業セグメントを集約しています。

※売上高および売上高構成比は端数処理をしております。

05 ●Topics (トピックス) 事業の状況● 06

# ●連結財務諸表

### 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当期末 2013.3.31現在	前期末 2012.3.31現在
資産の部		
流動資産	14,227	12,908
現金及び預金	4,714	3,945
受取手形及び売掛金	7,682	7,105
商品及び製品	285	264
仕掛品	270	376
原材料及び貯蔵品	962	908
繰延税金資産	196	172
その他	186	196
貸倒引当金	△70	△60
固定資産	5,522	5,283
有形固定資産	3,767	3,814
建物及び構築物	1,151	1,193
機械装置及び運搬具	279	326
工具器具及び備品	51	58
土地	2,234	2,200
リース資産	43	32
建設仮勘定	7	4
無形固定資産	380	257
のれん	133	155
その他	247	102
投資その他の資産	1,373	1,211
投資有価証券	819	641
繰延税金資産	252	301
その他	322	298
貸倒引当金	△20	△30
資産合計	19,750	18,192

科目	当期末 2013.3.31現在	前期末 2012.3.31現在
負債の部		
流動負債	8,226	7,414
支払手形及び買掛金	5,011	4,649
短期借入金	280	280
1年以内返済予定長期借入金	1,485	1,400
1年以内償還予定社債	334	254
未払法人税等	362	65
役員賞与引当金	15	_
賞与引当金	81	71
その他	655	693
固定負債	4,503	4,505
社債	623	557
長期借入金	2,808	3,044
リース債務	46	34
退職給付引当金	265	259
役員退職慰労引当金	440	415
資産除去債務	44	43
その他	274	151
負債合計	12,729	11,920
純資産の部		
株主資本	7,092	6,451
資本金	1,228	1,046
資本剰余金	995	995
利益剰余金	5,116	4,656
自己株式	△247	△247
その他の包括利益累計額	△77	△183
その他有価証券評価差額金	42	28
為替換算調整勘定	△119	△211
少数株主持分	6	4
純資産合計	7,021	6,272
負債及び純資産合計	19,750	18,192

# 連結損益計算書(要約) (単位: 百万円)

	科目	当期 2012.4.1~2013.3.31	前期 2011.4.1~2012.3.31
	売上高	17,321	15,405
	売上原価	12,521	11,445
	売上総利益	4,800	3,959
	販売費及び一般管理費	3,734	3,588
0	営業利益	1,066	371
	営業外収益	118	144
	営業外費用	128	122
	経常利益	1,056	393
	特別利益	5	42
	特別損失	13	51
	税金等調整前当期純利益	1,048	385
	法人税、住民税及び事業税	386	115
	法人税等調整額	48	14
	法人税等合計	434	130
	少数株主損益調整前当期純利益	614	254
	少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△1
	当期純利益	612	255

(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ポイント①

工場製品の販売増に加え、製造部門の生産効率の向上やコストの圧縮により、利益率が大幅に改善されました。

### ポイント2

超高引張強度コンクリートを用いた道路橋用プレキャスト床版の開発を目的として2013年1月に実施した株主割当増資により、資本金181百万円が増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

	科目	当期 2012.4.1~2013.3.31	前期 2011.4.1~2012.3.31
Ι	営業活動による キャッシュ・フロー	965	301
Ι	投資活動による キャッシュ・フロー	△188	△120
$\blacksquare$	財務活動による キャッシュ・フロー	△41	250
IV	現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	△6
V	現金及び現金同等物の増減額	735	425
VI	現金及び現金同等物の期首残高	3,632	3,206
VII	現金及び現金同等物の期末残高	4,368	3,632

(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 総資産・純資産 (単位: 百万円) **自己資本比率** (単位: %)



(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社情報 (2013年3月31日現在)

商 号 株式会社エスイー

所 在 地 〒163-1343

東京都新宿区西新宿六丁目5番1号(新宿アイランドタワー)

創業昭和42年8月

設 立 昭和56年12月

資 本 金 12億2,805万円

従業員数 単体176名、連結347名

グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売(㈱エスイー)

・環境防災分野

· 橋梁構造分野

・PPP/コンセッション分野

2.建築用資材の製造・販売 (エスイーA&K㈱)

3.建設コンサルタント (㈱アンジェロセック)

4.補修・補強工事(エスイーリペア(株))

5.その他 / 超高引張強度

コンクリートの開発等

関係会社 ㈱アンジェロセック (連結)

エスイーA&K㈱(連結)

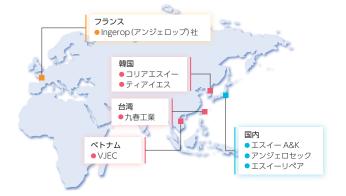
エスイーリペア㈱(連結)

(株)コリアエスイー(持分法適用、韓国)

T.I.S. (ティアイエス) (株) (持分法非適用、韓国)

何円越建設コンサルタント (V.JEC) (非連結、ベトナム)

九春工業股份有限公司(台湾) アンジェロップ(フランス)



#### 役 員 (2013年6月27日現在)

#### ■取締役・監査役

代表取締役社長 執 行 役 員 社 長	森	元	峯	夫
代表取締役副社長 執行役員副社長	大	津	哲	夫
取締役 専務執行役員	岡	本	哲	也
取締役 専務執行役員	塚	田	正	春
取締役 常務執行役員	本	間	誠	治
取締役 常務執行役員	今	田		顕
取締役 執行役員	戸	澤	憲	行
取締役 執行役員	杉	Щ	浩	之
監 査 役	鈴	木	章	$\equiv$
監 査 役	寺	石	雅	英
監 査 役	菅	澤	喜	男

#### ■執行役員(取締役を兼任するものを除く)

 執行役員副社長
 石 崎
 浩

 執 行 役 員
 髙 橋
 茂 雄

 執 行 役 員
 久 賀
 泰 郎

 執 行 役 員
 中 村
 賢 一

## ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、 当社ホームページをご覧ください。



http://www.se-corp.com

# 株式情報 (2013年3月31日現在)

#### 株式の状況

1.発行可能株式総数 27,400,000株

2.発行済株式の総数 15,628,300株 (うち自己株式674,218株)

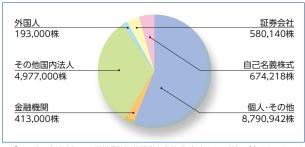
3.株主数 1,598名

4.大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社エヌセック	4,786,000	32.0
森元峯夫	499,000	3.3
大津哲夫	490,000	3.3
岡本哲也	485,000	3.2
前田昌則	468,000	3.1
高橋謙雄	425,000	2.8
竹島征男	370,000	2.4
鈴木昭好	332,000	2.2
株式会社SBI証券	250,000	1.6
森元伸一	240,000	1.6
合 計	8,345,000	55.8

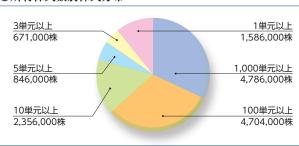
#### (注) 持株比率は、自己株式 (674,218株) を控除して、計算しております。

#### ●所有者別株式分布



※「その他国内法人」には証券保管振替機構名義株式 (1名2,000株) が含まれております。

#### ●所有株式数別株式分布



- ※「所有株式数別株式分布」には「自己株式」を含めておりません。
- ※ 「所有株式数別株式分布」には証券保管振替機構名義株式 (1名2,000株) が含まれております。

## 株主優待のご案内

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元(1,000株) 以上の当社株式を保有されている株主様を対象に、災害時に 備える防災用品や非常食をはじめ一律3,000円相当の品目リ ストより株主様が選ばれた一品目を贈呈いたします。

- ※1期限までにお申し込みがない場合は、当社より社会貢献団体への寄付(3,000円分)とさせていただきます。
- ※2今回の「株主様ご優待のご案内」は別送させていただいておりますのでご注意ください。



09 ●会社情報